

ポニー
コーション
フジレー

中小企業格付け「aaa」取得

地元住民交え報告会を開催

フジコーポレーション(本社・長野県佐久市、山口幸男社長、0267・66・6668)は信用格付会社の日本格付研究所(JCR)が行う「中堅・中小企業格付け」で最上位の「aaa」を取得した。これを受けて、7月2日には、地元住民や関係者を招いて報告会を開催した。

「aaa」から「c」までの9段階で評価するもの。対象となる企業は▽国内企業▽原則年商5億円以上▽非上場会社▽決算書が原則5期分存在している▽過去3年間に手形事故などの発生がない▽法的倒産先でない、が基準となる。

同社は費用項目(販売費および一般管理費)の環境保全積立額を勘案した実質的な収益力が高く、2008年2月期に金融機関からの借入金を全額返済。利益蓄積が進み、現金預金は潤沢、役員借入金以外の負債はわずか、現在の財務構成は強固と判断。財務



地元から感謝状を受ける

面から見た信用力は最も高いと評価された。事業計画では、同社特許技術の「フジ式盛土材圧密成形工法」による廃棄物リサイクル事業の次期用地170万立方メートルについて、地元説明会や関係者との公害防止協定書の取り交わしも終えている。

報告会のあいさつで、山口藤吉郎会長は「一般廃棄物の排出者の市町村が根拠ある事業者を選定するために、第三者による格付けが必要と3年前から評価を受けてきた。この業界に携わって30年間がたち、焼却灰、はいじんのリサイクルを処分場の埋立地内で完結する特許技術を確認した。これも重金属や有害物質の長期間の封じ込めについて文献がないなかで、100%企業責任を果たし、安全性を担保するため。地元の方々の理解を得てここまでできたが、これからも根拠のあるマネジメント、リサイクル技術を進展させたい」と述べた。

同社処分場のある小諸市御影区の土屋佳生区長は「不思議な話だが、施設設置区として感謝という気持ち。aaa」を取得したことでますます胸を張ることができると述べた。また、同区と隣隣の佐久市西屋敷区から同社に対して感謝状も贈られた。